

あなたにしか救えない 大切な命があります。

～ ASUKAモデルから学ぶAED利用 ～

13年前、さいたま市の小学校で一人の少女が倒れ、亡くなった。倒れた直後から心肺停止のサインをだしていたが、学校内にあったAEDが使われることはなかった。なぜ、AEDは使われなかったのか――。この事故は、決して他人ごとではない。大切な人の命を守るため、私たちはなにができるのか……。事故当時、さいたま市教育委員会教育長だった桐淵さんを招いて、共に考えてみたい。



きりぶち ひろし
講師 桐淵 博 氏

1953年群馬県生まれ。東京学芸大学B類数学科卒。中学校数学科教師、中学校長、さいたま市教育委員会教育長、埼玉大学教育学部教授、埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター研究員を経て、現在、公益財団法人日本AED財団理事。

日時

令和6年11月30日(土)
10時～12時(9時30分開場)

会場

相模原市広陵小学校体育館
※駐車場は、東門から入庫し校庭をご利用下さい。

参加方法

小中学校保護者、地域の方、AED利用に関心のあるすべての方が対象です。
右記の二次元バーコードより事前登録下さい。
(席に空きがある場合は、当日受付あり)
お子様連れでの参加も可能です。※託児はありません。

参加お申込み



11/24締切

参加費無料

お問い合わせ

相模原市立広陵小学校 TEL042-782-4566

アンケート
のお願い

講演後、ぜひ感想をおきかせ下さい。
右記の二次元バーコードからアンケートにご協力をお願いします。

アンケートは
こちら



12/7まで

主催:相模原市教育委員会

実施:相模原市PTA連絡協議会 城山ブロック